



第120号

2014-2015年度 主題

国際会長：Wichian Boonmapajom “Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア会長：Edward K. W. Ong “Through Love, Serve”

「愛を持って奉仕しよう」

東日本区理事：渡辺 隆 「原点に立って、未来へステップ」

湘南・沖縄部長：今城高之 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」

クラブ会長：辻 剛 「初心に帰り、世のため、人のため」

—喜びと楽しみを求めて—



今月の聖句

「イエスは言われた。『舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。』そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかつた。」

ヨハネによる福音書 21:6

2016年4月本例会

日時:2016年4月22日 18:30～

場所:かけはし都筑

受付:(報告書) 岡崎さよ子

司会:横田孝之

プログラム

開会点鐘 辻 剛会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 司会者

会長挨拶 辻 剛会長

入会式

卓話「日本の学校教育に提言したい事」

一わが子のドイツとUSAでの教育を実体験して—

太田勝人さん

(東京世田谷クラブ)

YMCA報告 山中担当主事

スマイル

誕生日祝い

4月1日 岡田勝美さん

4月9日 鈴木恭子さん

4月17日 福島佐世子さん

各種アピール

閉会点鐘 辻 剛会長

~~~~~

閉会后、新任の山中担当主事とゲストの方々と会食・懇親会を「はなの舞」(センター南駅隣接・AUNE B1F 045-948-6156)で行いますので、ご参加ください。

**「作業所からの帰り道」**

岡田 勝美



ポストに横浜YMCA田口総主事から私の誕生日カードが入っていました。有難うございます、これからもYMCAに少しでも尽くしていきたいと思います。

今ボランティアの障がい者作業所から戻ったところです。今日も1日疲れました。70歳を過ぎた今、作業も遅く大なり小なり私も障がい者の仲間入りです。

私にとって作業所からの帰り道は楽しいひと時です。いつものように細い緑道を4人でぺちゃくちゃ話しながら歩いていました。A君は子犬連れのおばさんを捕まえました。するとA君は私に犬を触れとか抱けとかいうのです。まったく話ができないので声とジェスチャーで訴えます。おばさんはいやがらず相手をしてくれます。次に会ったのはいつもの「おばちゃん」です。「こんにちは・・・」他の2人は話せるのですが、A君はただ服とか荷物などに触れています。「おばちゃん」はニコニコして見守ってくれます。小学生がやってくると私を突っきます。タイミングよくA君が頭を下げ、私も声をかけないといけません。緑道ではいろいろな人と出会います。その都度A君は「こんにちは」をしたくて私を促します。障がい者には珍しくコミュニケーションに積極的です。ただ頭を下げるだけなのですが、挨拶をしたいのです。こんな珍道中の帰り道です。

知らん顔で通り過ぎる人もいますが、地域子どもたちも大人たちも私たちのことをわかってきています。ちょっとした帰り道での事ですが、人との楽しく温かいふれあいのひと時です。これからも緑道の子どもにも大人にも「こんにちは」と挨拶していこうと思います。

また来年もYMCAからの誕生日カードをもらえるように元気でいましょう。

**4月の強調テーマはLTです。**

LTとはリーダーシップ・トレーニング(Leadership Training)の略です。「ワイズであること」自体がリーダーシップ・トレーニングといわれています。それは、入会式の際に制約した5つの事柄にも表されていますし、4つのI(Idealism Interest Initiative Industry)としても表現されています。言葉を変えてまとめると「理想、興味を持ち、自ら提案者となり、労をいとわず、前向きに行動する事」と表現しても良いでしょう。4月がLTの強調月であることは、特にこの時期3月の次期クラブ会長・部役員研修会を終えて、各クラブ・部において次期に向けてのリーダーシップが、ことさら期待される時でもあるからです。(LT委員長 伊藤幾夫[東京コスモス])

**前月データ**

| 例会出席 | 18名 | 在籍会員数  | 18名 | 各種記録  | 前月      | 累計       |
|------|-----|--------|-----|-------|---------|----------|
| メンバー | 15名 | 月間出席数  | 17名 | 使用済切手 | 0g      | 1,000g   |
| ビジター | 名   | メーキャップ | 2名  | プルタブ  | 0kg     | 10.4kg   |
| ゲスト  | 3名  | 月間出席率  | 94% | スマイル  | 16,000円 | 186.311円 |

## &lt;3 月本例会報告&gt;

日時:2016年3月26日(金) 18:30~20:30

会場:かけはし都筑

参加者:相賀、今城H、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木K・S、  
田中、辻Ts、生井、林M・S、福島、横田

ゲスト:高松満至さん、武田暁明さん、溝部文子さん

3月本例会は、認知症予防に効果があるといわれる「コグニサイズ」について学びと実技の体験をしました。

「コグニサイズ」とは、英語の cognition(認知)と exercise(運動)を組み合わせた造語で、運動と認知課題を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表し、国立長寿医療研究センターが開発したものです。

講師に、コグニサイズの研修を受講した健康運動指導士の溝部文子さんをお招きし、指導していただきました。



前半は、厚生労働省の発表によると、2025年には認知症患者が全国で700万人を超え、65歳以上の5人に1人となることが予測され、わがクラブメンバーは全員適齢期となっている「認知症」とその予防について学びました。

後半は、「YMCA 脳いきいき体操」の体験でした。



優しいインストラクターは、我々の年齢に合わせて、椅子に座ったままで、足踏みしながら手を振ったり、たたいたりする程度に体を動かしながら、計算やしりとりなど簡単な認知課題で脳を鍛える運動を指導してくださいました。ただ運動だけをするのではなく、同時に認知課題に取り組み、声に出すことが大変重要なポイントだと体験を通じて習得しました。

閉会後の懇親会では、ゲストの方々との会話がはずみ、武田暁明(たけだあきお)さんがワイズに関心を持ってくださり、JR鎌倉駅舎の設計者であることから、来期卓話をお願いすることになりました。

(林 茂博 記)

## &lt;4 月事務例会報告&gt;

日時:2016年4月12日(火) 18:00~20:15

会場:田園都筑教会・懇親会「一心」

出席者:今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、久保、  
鈴木 S・K、田中、辻 Ts、林 S・M、福島、横田  
ゲスト 高松満至氏

➤ 黙祷を行い、次第に沿って議事に入りました。

1) 5/21(土)~5/22(日)「創立記念例会」の件  
参加予定者は日帰りを含めて40~50名の予定。  
第1部・記念例会13:00~  
第2部・記念シンポジウム  
第3部・BBQパーティ  
第4部・懇親会19:00~23:00  
記念品贈呈(植樹etc)は記念誌の予算を含めて今後検討する。

2) 記念誌の進捗状況確認(鈴木S)  
予定通り進んでいるが、記念誌の体裁は鈴木Sと林Sとに任せる。

3) 会員増強キャンペーン進捗状況確認(横田)  
現在5名が入会候補者として提出されている。5月例会で報告する。

4) 北Y山中奈子館長→担当主事(4月~就任)の件  
入会金(6千円)はクラブで負担する。生井氏はつづきワイズに残るのであれば、山添氏と同じ扱いとする。

5) You&Iコンサート関連:対社協「ふれあい助成金」の申請期限確認及び教育委員会などへの後援取り付け開始(林S、今城T)

◇ 報告・連絡・確認事項等

1) 4、5月及びそれ以降の予定確認(年間予定表にて)  
◎4月22日(金)本例会(卓話者:太田勝人氏 ビジター:武田氏)の確認

◎5月10日(火)事務例会の確認

◎5月28日(土)横浜YMCA会員総会の確認

◎8月3日(水)~7日(日)世界大会(台湾)申し込みの確認

参加予定者は6名(鈴木S、林S、今城T、辻Ts、久保、田中)

(2) 報告

◎「みんなの家」報告(COCO)(今城H)

◎「みんなの家」報告(ポピー)(鈴木K)

◎「アーモンド」報告(林M)

◎TKB活動報告(今城H)

東日本大震災支援活動である南保育所等への誕生日カードは4月も郵送した。今後定期的に岡崎ワイズ宅に集まり毎月カード作成作業をする。

◎歌声広場報告(久保)

菊名北YMCAでの歌声広場は9年目に入った。参加者は毎回増え、本日は67名で新記録だった。

3) 今月・来月のCS活動確認(月別担当者予定表にて)

5. 閉会点鐘

◎ 懇親会:「中華料理一心」

満腹でしたが費用は格安でした。(岡田 勝美 記)

**<石巻広域ワイズメンズクラブ設立総会に出席して>**

石巻広域ワイズメンズクラブ設立総会が開催されましたので当クラブから林茂博さんと私が出席してまいりました。以下、簡単にご報告致します。

日時：2016年4月2日（日）14：00～16：45

場所：石巻グランドホテル「天翔の間」

【設立総会】（14：00～15：00）

- ①開会点鐘、ワイズソング、
- ②聖句・祈祷・奨励：石巻山城町教会 関川祐一郎牧師（関川牧師もチャーターメンバー）。
- ③挨拶：スポンサークラブ（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川ワイズメンズクラブ）

代表、中川典幸会長（仙台クラブ）：

「本日はまことにおめでとうございます。宮城県にはこれまでいずれも仙台を拠点とする3つのクラブがありました。今回初めて仙台以外の石巻を拠点とする石巻広域クラブが県内4つ目のクラブとして誕生することになりました。また、北東部としてはこれまでの10クラブが11クラブとなり、まことに喜ばしいことであります。この新しいクラブは今後被災地を中心に活動をしていく予定ですが、われわれ仙台勢にも部内の他のクラブにも大いに刺激を与えてくれるようなご活躍を祈願しております。」

④出席者は、東日本区（渡辺隆理事、利根川恵子次期理事以下執行部の方々）、北海道部、関東東部、東新部、あずさ部、湘南・沖縄部（2人）からそれぞれ出席者があった。盛岡YMCA・濱塚有史総主事、仙台YMCA・村井伸夫総主事も出席された。出席者は合計約70名とのことでした。

⑤設立経過報告：



清水弘一氏（仙台青葉城クラブ）「2014年2月新クラブ設立のための勉強会開催した。震災発生から3年後の2014年8月、地元協力者の働きで初めて新クラブの設立準備有志交流会を持ち、計5回持った。その後交流会を設立準備委員会とし2015年10月まで計7回持った。そして、11月から準備例会を2016年3月26日まで計4回持ち、設立総会、チャーターナイトのスケジュールを決めた。石巻市は震災で6,370名の市民が犠牲になった。新クラブの殆どのメンバーが被災者で、家族が亡くなられた方もいます。支援活動を続けているなかでこのように協働してきた仲間である、地元の方々とは知り合い、新しいクラブができたこと、そこに大きな意味があると思います。」

⑥総会議事：議案はすべて承認された。

⑦祝辞：東日本区理事・渡辺隆氏、仙台YMCA総主事・村井伸夫氏よりそれぞれ心温まる祝辞があった。



⑧新クラブ会員とクラブバナー案の紹介：新クラブ会員は21名。バナーは仙台青葉城クラブの金原 譲氏がデザインされた由。

⑨新クラブ会長・平井孝次郎氏挨拶：



「仙台YMCAの村井総主事、仙台青葉城クラブの清水弘一さんの懸命の努力により、腰の重い石巻の人間も動いてくれた。クラブ名は「石巻」だけでは女川とか他の地域の方が参加するのに躊躇するのではないかと考え、北部全体を含む地域を指す「広域」とした。」

⑩閉会点鐘

【祝会】（15：15～16：45）

祝会は新クラブのメンバーによる箏曲の演奏、民話の語り、などで始まりメンバーのタレントぶりが発揮された。着席形式のビュッフェでテーブルを囲んで他クラブの方々と一緒に楽しいひと時を過ごしました。特筆すべきはこの石巻グランドホテルのシェフも新メンバーの由。残念ながら我々のためにおいしいお料理を作ることに集中し、会場には顔を出す時間がなかったそうです。

【感想】

私にとって昨年東京ベイサイドクラブのチャーターナイト以来でしたが、未来と希望がある新クラブの設立総会やチャーターナイトは出席していて大変気持ちの良いものです。特に石巻広域クラブは、清水弘一さんの経過報告にもありましたように、殆どのメンバーの皆さんが被災者で、中には家族を亡くした方もおられるとのことで、ご自分たちの復旧・復興で精一杯の筈なのにと感じてしまいましたが、そんな中でよくぞ新しいクラブが誕生することができたな、と感動するとともに、ここまでの数々の困難を克服された関係者の皆さまに敬意を表します。YMCAやワイズメンのみなさんが支援活動を通して地元の方々との交流を深め、絆、連帯が強化され、今日につながったのかなと思いました。石巻広域クラブの今後の発展をお祈りしながら報告を終わります。（辻 剛 記）

### ＜横浜北YMCAだより＞

2016年2月から「YMCA児童発達支援きくな」が開設されました。これは、特別な支援の必要な就学前の子どもたちへの早期支援プログラムです。障害者手帳などの取得は必要なく、保護者が所在地の市役所・区役所で「受給者証」を取得することで費用の1割負担（1,000円程度）で参加をしていただくことができます。「評判良いですよ」と参加者のお母さんからお声をいただくことができました。これからも多くの参加者に来ていただけたらいいと思います。

2016年度のプログラムもスタートしました。今年度はスタッフの入れ替わりが多く、新しい顔ぶれも多くおります。積極的な働きをしてくれるスタッフたちです。是非期待していただければと思います。つづきワイズの皆様をはじめとし、多くの方々に愛されるYMCAとしてスタッフ一同頑張っています。どうぞ、ご指導とご支援をお願いいたします。健康教育部ではサッカー・水泳の新しいクラスを2クラス増やし、キャンセル待ちの子どもたちがいないような展開をしていきます。オルタナティブでは鶴見中央YMCAにおいて保護世帯の子どもたちを対象とした「寄り添い型学習支援」の委託運営が始まります。

また、4月29日（水・休日）は、『家族みんなの健康づくりを応援する』をテーマにヘルシーキッズデイを行います。家庭・家族、そして地域に向けてプログラム実施します。お時間をございましたらぜひプログラムをのぞいて見てください。

最後になりましたが今年度もよろしくお願いいたします。

新しく加わったスタッフを紹介します。

- ・山田 有理紗 オルタナティブ 中央Yより異動
- ・小田切 勇真 健康教育部 山手台Yより異動
- ・谷保 康子 オルタナティブ 新職（2月～）
- ・前橋 あかね 健康教育部 新職
- ・郷原 拓実 健康教育部 新職
- ・武田 香織 健康教育部 新職
- ・藤井 理 健康教育部 新職
- ・宮原 あずみ オルタナティブ 新職

また、YMCAまつりや交流会などで関わりを持つことができると考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

《5月行事予定》

5月14日 横浜北YMCA運営委員会

5月28日 横浜YMCA会員総会

### 5月例会予告

5月本例会は、設立10周年記念例会として、富士山YMCAで開催します。友人・知人をお誘いください。

**本例会:5月21日(土) 13:00~22日(日)**

**例会場:富士山YMCA**

5月事務例会は、10日(火)18:00から田園都筑教会で行い、10周年記念例会の最終準備を行います。

### ＜入会にあたって＞



2016年4月より横浜北YMCA館長となりました山中奈子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。大学卒業後、1988年4月、横浜北YMCAに新職員として配属されました。当時は「指導職」「総合職」と分かれていた時代で、制服を着ていたことを覚えています。

2年間北YMCAで総務関係の仕事をしたあと、YMCA金沢八景ステーションに勤務をしました。野外活動・成人向けの山登りの会を担当していて、毎日外に出かけていたため真っ黒になっていたのを覚えています。1995年1月に湘南とつかYMCAのオープニングスタッフとして異動、成人クラスを中心にシンクロナイズドスイミングや野外活動など多くのプログラムの担当をするようになりました。とつかウエルネスに12年間所属しておりましたが、その間に一男二女の子どもを授かりました。仕事と家庭の両立は大変ではありましたが、しかし、多くの人に支えられ、子どもと共に成長させてもらいました。長女と次女は年齢が12歳離れています。（二人とも亥年の女…猪突猛進型です）二人は親子にみられることもあります。親としては本当に助かっています。

次女の産休明けから再び北Yでお世話になるようになりました。北Yに来てからオルタナティブ事業部を担当するようになりました。20年間健康教育部一筋でしたので、まったくわからないことだらけでしたが、子どもたちの純粋さと社会での困り感を感じながら、「どうにかしたい」思いでプログラムを実施してきました。今回横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブの担当主事を担わせていただけることに感謝するとともに、クラブの活動に積極的に関わらせていただきたいと存じます。若輩者ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。

次女の産休明けから再び北Yでお世話になるようになりました。北Yに来てからオルタナティブ事業部を担当するようになりました。20年間健康教育部一筋でしたので、まったくわからないことだらけでしたが、子どもたちの純粋さと社会での困り感を感じながら、「どうにかしたい」思いでプログラムを実施してきました。今回横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブの担当主事を担わせていただけることに感謝するとともに、クラブの活動に積極的に関わらせていただきたいと存じます。若輩者ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。

### ブリテン120号発行にあたって

この120号を編集している時にも、熊本地方で発生した大震災のニュースが絶え間なく放映されています。いつ何が起こるか分からない日々の営みのなかで、10年間クラブの歩みが着実に継続できたことに感謝しています。

ボランティア活動は、他人に強いられて行うものではなく「出来る人が、出来ることを、出来る時に」自発的に行うものです。クラブとして、また個人として、わがクラブのメンバーは熱心にボランティア活動を実践しています。10年間のブリテンは、地域に根差す活動が進展したことを記録してきました。

ブリテンは、カウントダウン仮会報として2006年1月に発行したNo.-3号から120号まで発行され、その全巻ファイルが手元にあります。2006年5月発行の第1号から2010年2月発行の第46号までは、宮村 暁さんが編集責任者で、斬新な紙面が他クラブの注目を集めました。2010年7月以降今日まで編集担当しましたが、編集内容のマンネリ化が見られ、来期から今城高之さんにバトンタッチします。（林 茂博 記）